

# JA みねのぶ



秋播き小麦刈取り作業（渡辺雅実さん圃場、岩峰、7月25日）

■発行日/平成28年8月1日/No.1372号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

## 小麦集出荷調製施設操業開始

小麦集出荷調製施設の本年産麦の受け入れ開始は、前年より2日遅い7月25日から始まりました。

刈取作業は管内の早いところで順調に進んでいます。

小麦集出荷調製施設の出荷一番乗りは光珠内北中央の笹木敏さんで「きたほなみ」1450kgを搬入し、記念として森川組合長からお祝いの品が手渡されました。

J A 営農販売課

☎ 0126-67-2334

小麦集出荷調製施設

(臨) ☎ 0126-67-2772

(臨) FAX 0126-67-2776



初出荷の記念品を受け取る笹木さん

高久 功さん (90歳) 7月12日  
内田 定雄さん (89歳) 7月20日  
岩見沢市峰延町445番地

おくやみ申し上げます

1. 信用限度を超えた資金の貸付について
2. 第1四半期監事監査改善事項に係る回答について
3. 諸規程の改正について

### 第6回(7月定例)理事会の開催について

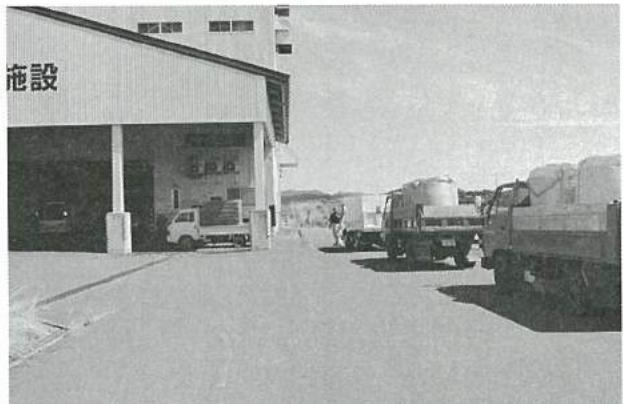
7月20日開催の第6回理事会において次の事項が決定されました。

#### ◇付議事項◇

1. 信用限度を超えた資金の貸付について  
2. 第1四半期監事監査改善事項に係る回答について  
3. 諸規程の改正について

幕末封建制の末期、疲弊する農村を復興するために活躍したのが報徳思想の父である二宮尊徳翁です。幕藩体制の中で、貨幣経済の強化と相まって農村の暮らしは劣悪な状況にあり、農村からは飢饉や重税に苦しんだ農民の逃散が続き、農業生産力は低下の一途を辿りました。

桜町領も例外ではありませんでした。尊徳翁は荒廃した桜町の復興を託されたのですが、最初に手がけたのが、村落共同体の再建で



施設搬入状況(7月25日)

## 一報徳一

『地域コミュニティと協同組合活性化は報徳精神で』

地域と総合協同組合は共に支え合う関係にあり、両者が健全に発展しては

營が安定するものであり、そして、総合協同組合は地域コミュニティを土台として組織されており、信用等の事業を行うだけでなく、地域コミュニティを育む使命を持っています。

では組合として地域コミュニティを守る使命を、どのように果たせばよいのでしょうか。

現代も農漁村から的人口流出が続いている、まさに江戸末期と同じ状況が出現していると指摘したのは報徳研究者である東大名誉教授の神谷慶治氏です。

地域コミュニティの担い手減少や、「今だけ自分だけ」の新自由主義的な価値観の氾濫など、地域コミュニティは新たな課題に直面しています。この状況を改善するためには、かつて農村共同体の復興を成功に導いた尊徳翁の報徳仕法を、地域コミュニティの実情にそつて現代的することが必要です。小林篤一翁や黒澤酉蔵翁、安藤孝俊翁が、戦後の協同組合に持ち込んだ報徳の精神を伝えることが再び求められています。

(協同組合と報徳VI)

協同組合の誇りと使命より

した。領主である宇津家（小田原藩の分藩）に分度を守ることを約束させ、農民の負担を軽減して生産意欲を高めるとともに、北陸からの移民の受け入れをはじめ、村落施設の改善や共同体による相互扶助の取り組みを助長するなど、村落共同体の機能を活性化しました。



黄色の旗の波で交通安全を呼び掛ける

職員16名が「シートベルト着用」「スピードダウン」「安全運転の励行」と記した黄色い旗を振る「旗の波作戦」活動を行い、国道12号を往来する車の運転者に交通安全を呼び掛けました。

これは美唄地区安全運転管理者協会に登録する全事業所が取り組む活動で、職場内の交通安全意識の醸成と地域社会で車輛を使って事業活動をする一員として無事故・無違反を社会に広く訴え掛け

6月29日の朝8時から、当JAで黄色の「旗の波」で交通安全を呼び掛ける



排出者（組合員）毎に重量を測定

回収したのは、使用済みのハウスビニール、マルチ、育苗箱、肥料袋等で、193人の組合員の皆さんから約43tの産業廃棄物を回収しました。峰樺3区の農産物検査場所に集められ、排出者（組合員）毎に重量を測定

### 農業用廃ビ・廃プラスチック回収 青年部が実施

6月24日、JA青年部が農業用廃プラスチック類の回収を行いました。

「交通事故のない安全で安心な社会の実現」を目指す狙いがあります。



大型トラックで産廃処分場へ搬送

員）毎に重量を測定・記録した後に種類毎に分別して運送会社の大型トラックに積み込まれ苫小牧の産業廃棄物処理業者に搬送されました。

JAでは、生活環境を守り「環境にやさしい農業」を実践して安全・安心な農産物生産の実践を目指しています。



相談の様子

**年金のお受け取りは当JAで**

相談を受けたのは荒千鶴社会保険労務士（札幌）で、年金受給に必要な手続きや年金金額の試算など年金に関する疑問について、分かりやすく丁寧に説明していました。

7月12日、当JAで年金相談会を開催しました。  
当JAでは、組合員や利用者が安心して年金を受給できるよう、無料の年金相談会を毎年開催していく、今回相談に訪れたのは事前に予約の7人です。

相談を受けたのは荒千鶴社会保険労務士（札幌）で、年金受給に必要な手続きや年金金額の試算など年金に関する疑問について、分かりやすく丁寧に説明していました。

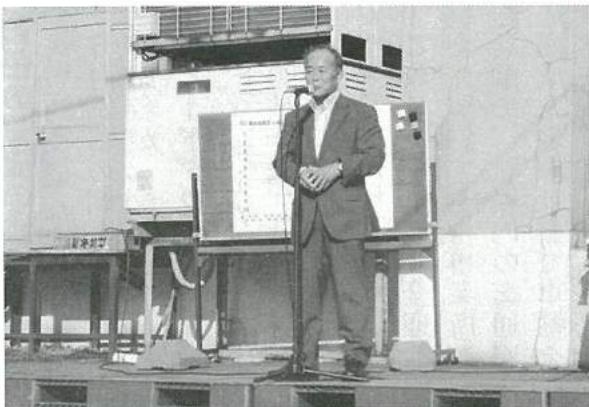
**年金相談会（無料）開催する**

## ビールパーティー

### 盛会裏に終わる

当JAのビールパーティーが7月7日午後4時から当JAビル裏の駐車場に設けた特設会場で開催し、組合員の皆さまとご家族、地域住民の皆さま等、約260名の方々にお越しいただきました。

会場では、ビール・ソフトドリンク等の飲み物に加えて、焼き鳥（福よし）、牛ステーキ、手打ちそば、枝豆、揚げ物、たこ焼き、ソフトクリームの販売があり、晴天で気温が高く、一段と美味しいビールが飛ぶように売れていました。ホクレンや信連、共済連等の岩見沢支所の職員の皆さまも訪れ会



開会挨拶を述べる森川組合長



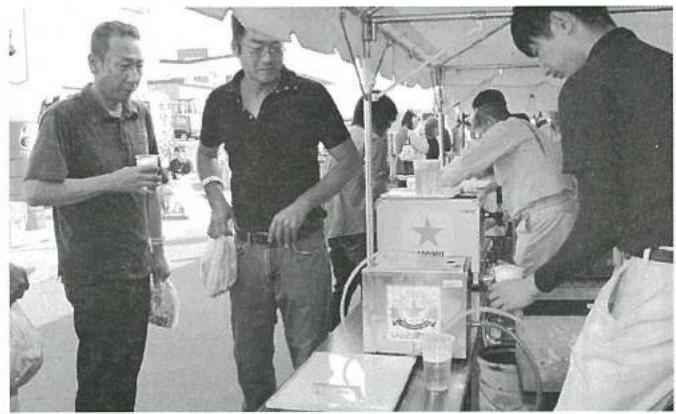
今年の新酒「一圓融合」の試飲会



大盛況です



暑くて、熱くて！（牛ステーキ焼き）



ビール、ビール、早くビール

場の皆さまと交流を深めていました。森川組合長が挨拶に立ち、「日頃のご愛顧に感謝を申し上げます。開催3回目のビールパーティーで組合員の皆さま、地域の皆さまと交流が出来る貴重な催しと位置付けています。今回も、大勢の皆さまにご来場いただきありがとうございました。」と述べました。

組合長の挨拶に続き、当JAの今年の新酒「一圓融合」の試飲会が行われ多くの日本酒ファンが堪能していました。

会場は焼き鳥や牛肉を焼く煙等が立ち込め、時間が経つ程に盛り上がり、飲み放題のビールが引切り無しに運ばれていました。

余興では、ゴム風船に空気入れを用い空気を入れ続けて破裂するまでの速さを競う「風船早割対決」、歩数計を装着して一定時間その場で動き歩数計の数値の大きさを競う「歩数王決定戦」が行われ、女性も参加し男性に負けない熱の入った競技に会場が沸いていました。最後は、皆さんお楽しみのビールチケットのナンバー抽選会で、期待の豪華景品に安達常務理事が引く当たりナンバーの発表に会場の静寂と喜びと落胆の声が繰り返されました。

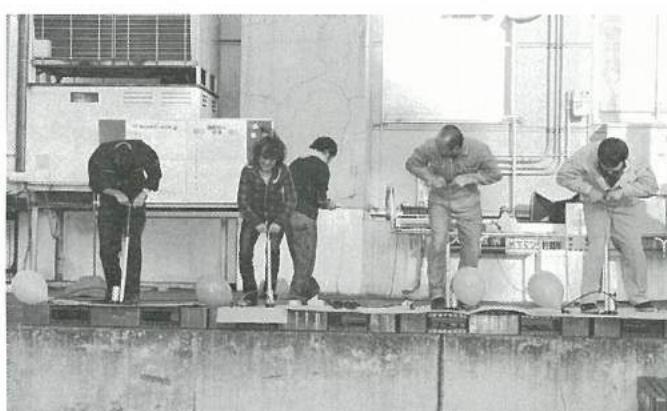
最後に、安達常務理事が閉会の挨拶を述べ、今年のビールパーティーは盛会に終わりました。



美唄焼き鳥（福よし）も出店



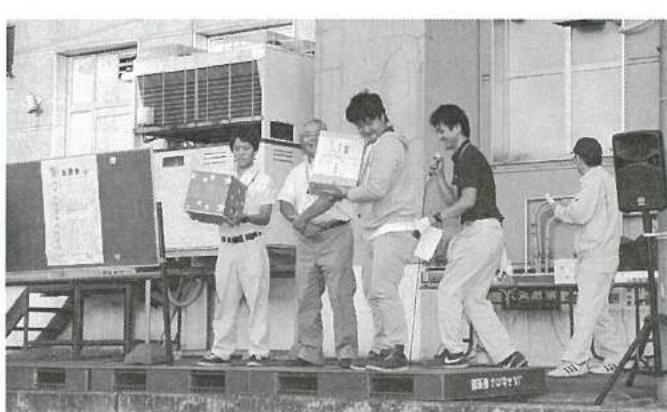
こちらも美味しい



なかなか割れないゾ(風船早割対決)



お子さんも楽しんでいます



当たった！



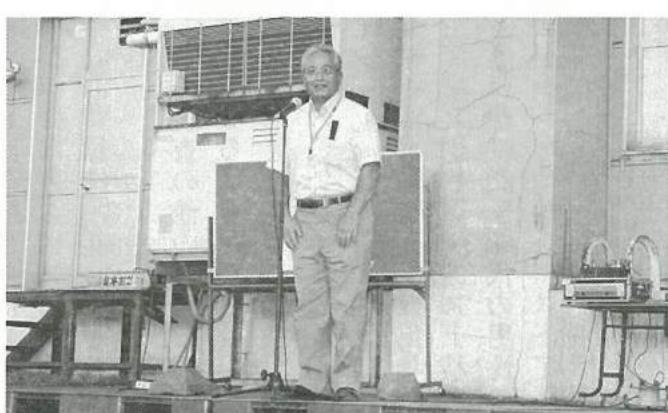
ひたすら地団駄踏みます(歩数王決定戦)

**峰延農協年金友の会  
パークゴルフ大会開催**

7月4日、峰延農協年金友の会（会長 中西勇夫）のパークゴルフ大会が三笠市岡山にある三笠市パークゴルフ場（36ホール、全長1774㍍）で開催されました。

参加者は事前に参加申し込みを行った44名（男29名、女15名）、晴れで少し風の強い中で行われました。

「開会式で中西会長は『怪我のないように楽しんで親睦を深め、日頃の練習の成果を発揮してもらいたい。』と挨拶を述べ、続いて、



閉会挨拶を述べる安達常務理事

安達常務理事がお祝いの挨拶を述べました。

参加者は3組に分かれ3つのコースから一斉にスタート、日頃の練習の成果を発揮しようと真剣にプレーを行い、時々見られる好プレー、珍プレーに歓声や嘆息が起り和やかに楽しんでいました。安達常務理事も一緒にプレーに参加し親睦を深めています。

今大会の優勝者は、男性は渡辺幹夫さん（峰延東松盛会）、女性は渡辺艶子さん（峰延東松盛会）で御夫婦での優勝でした。また、ホテルインワン賞は、北野重夫さん（中小屋長寿会）と塚本静子さん（光珠内老人クラブ）の2名でした。それぞれ競技終了後に表彰式が行われました。



開会の挨拶を述べる中西会長



最低を更新、少子高齢化が一段と進んだことになります。

65歳以上人口の割合は諸外国と比べると、日本（26.7%）はイタリア（22.4%）及びドイツ（21.2%）よりも高く、世界で最も高い水準となっています。

日本の人口は1億2711万人で前回（2010年）の国勢調査から0.7ポイント減少し、調査開始の大正9年以来、初めての減少となります。

## 20代男性の2割が1ヶ月米食なし

農林水産省が実施した食生活の調査で、20代男性の約2割が1ヶ月間米を食べていないことが分かり、食生活の多様化を背景とした米の消費減少を裏付ける調査結果となりました。この調査は日常生活の中で和食文化の実践の程度を把握するために全国の20～69歳の男女を対象にインターネットで昨年10月に実施、有効回答数は1万人でした。

最近1ヶ月の食生活について、「ごはんを食べる」と回答が全体の93%、残りの7%は月に一度も米を食べていないことになります。女性（5%）より男性（9%）の5ポイント下がつて12.7%となり

方が食べない人が多く、どの世代でも同様の傾向が現れました。特に若い男性の米離れが顕著で、20代（18%）、30代（11%）が多く、女性も若い人ほどその傾向が強いこと分かりました。パンを食べた回答は全体で84.2%、魚料理80.5%、肉料理80.5%、カツ丼（カツラーメン）58.5%、地域に伝わる料理14.8%と回答。食習慣に関する回答では、「残さず食べる」63.2%、「好きな料理だけ食べる」17.4%と回答。米の消費は年々減少を続けていて、平成16年で1人当たり年間消費量61.5kg、最も多かつた昭和37年118kgの約半分に減少し、平成25年にはさらに減り1人当たり年間消費量は56.9kgとなっています。

この調査の他の質問で、和食の基本となる「だし」を自分で取る人は28%にとどまり、既製品の顆粒や液体の”だし”を使う人より18ポイントも低い結果となりました。食材を買う場所も多様化していく、主に購入する場所はスーパーが最も多いが、20～40代の男性の過半数がコンビニエンスストアと回答、20、30代の女性の3割がドラッグストアと回答しました。

# 人間ドックを受診しましょう

日本人間ドック学会の最新の統計情報「2014人間ドックの現況」によると、2014年は318万人(男性191万人、女性127万人)が人間ドックを受診し、総受診者数は毎年増加しています。また、人間ドックの普及に伴い、反復受診者の割合は全受診者の70~80%を占めていて、その結果、人間ドック受診者の平均年齢が40歳代から50歳代へ移行し、さらに60歳以上の受診者が年々増加しています。一方で、40歳未満の受診者は、近年減少傾向で全体として人間ドック受診者の高齢化が進んでいます。

会社や自治体で受ける健康診断は血液と尿の検査が主で糖尿病や脂質異常症などの生活習慣病の発見に適していますが、死亡する割合が高い病気に対してはリスクになり得る要因しかわかりません。人間ドックでは、X線検査や超音波検査などの画像診断を行っていますので、症状が出る前の早期がんを見つける可能性が高く、一般的には、がんは早期発見・早期治療によって生存率が高まると言われているので、毎年人間ドックを受診しましょう。

日本人間ドック学会「2014人間ドックの現況」によると、受診者318万人のうち、がんが発見された8084症例の主要臓器別がんの性別・年齢別の発見率は次の通りです。

## 【胃がん】\*女性の40歳代で10%超、男女とも50歳代で発見率が25%以上に急増します

40歳までの発見率:男性1.0%、女性2.2%  
40歳~49歳までの発見率:男性5.1%、女性11.5%  
50歳~59歳までの発見率:男性25.5%、女性28.5%  
60歳以上の発見率:男性68.4%、女性57.8%

## 【大腸がん】\*男女とも40歳代で10%超、50歳代で30%以上に急増しますので、早期発見には40歳代からの受診をお勧めします。

40歳までの発見率:男性1.5%、女性2.5%  
40歳~49歳までの発見率:男性11.0%、女性13.9%  
50歳~59歳までの発見率:男性32.4%、女性34.2%  
60歳以上の発見率:男性55.0%、女性49.5%

## 【肺がん】\*男女とも50歳代で20%超の発見率で、喫煙者や身近に喫煙者が多い方は40歳半ばからの受診が早期発見につながります。

40歳までの発見率:男性0.9%、女性0.6%  
40歳~49歳までの発見率:男性6.0%、女性12.3%  
50歳~59歳までの発見率:男性24.5%、女性27.4%  
60歳以上の発見率:男性68.5%、女性59.8%

## 【前立腺がん】\*50歳代で約20%、60歳代で約90%に跳ね上ります。40歳代から毎年受診をお勧めします。

40歳までの発見率:男性0.0%  
40歳~49歳までの発見率:男性1.7%  
50歳~59歳までの発見率:男性19.4%  
60歳以上の発見率:男性88.9%

## 【乳がん】\*発見年齢の割合が他のがんより若いのが特徴で40歳になったら毎年受診をお勧めします。

40歳までの発見率:女性4.1%  
40歳~49歳までの発見率:女性33.5%  
50歳~59歳までの発見率:女性33.1%  
60歳以上の発見率:女性29.3%

## 【子宮がん】\*発見率が40歳までで約20%ですが40歳代で40%に急増します。20歳代に一度は健診を受けるのをお勧めします。

40歳までの発見率:女性17.8%  
40歳~49歳までの発見率:女性40.7%  
50歳~59歳までの発見率:女性24.9%  
60歳以上の発見率:女性16.6%

以上から、人間ドック受診による各がんの発見率は年齢により大きく異なりますが、一部のがんを除いて50歳以降に発見されるケースが多いことが分かります。女性は20歳代、30歳代で婦人科系の検診を受診し、40歳代になったら男女とも人間ドックを1年に1回受診することで、がんの早期発見につながります。

**【人間ドック】のお申し込み、お問い合わせは…JAみねのぶ 共済課：0126-67-2113(直通)**

# 「改正農協法」が本年4月から施行

平成27年8月28日、改正農協法・改正農業委員会法及び改正農地法が成立し、同年9月4日に公布され、施行日は平成28年4月1日です。農業の成長産業化を図るため、6次産業化や海外輸出、農地集積・集約化等の政策を活用する経済主体等が積極的に活動できる環境を整備する必要があるため、農協・農業委員会・農業生産法人の一体的な見直しが行われました。

農協法改正では、組合の事業運営原則の明確化、組合の理事構成、法律上の中央会制度の廃止、公認会計士監査の義務付け等、JAグループの事業・組織の根源に関わる内容が盛り込まれ、60年ぶりの抜本改革となります。

## 改正の概要

### ◆ 農業協同組合法の改正 ◆

#### ◎ 地域農協が、自由な経済活動を行い、農業所得の向上に全力投球できるようにする

##### 【経営目的の明確化】

非営利規定を廃止し、農業所得の増大に最大限配慮するとともに、的確な事業活動で高い収益性を実現し、農業者等への事業利用分量配当等に努めることを規定する。

##### 【農業者に選ばれる農協の徹底】

農業者に事業利用を強制してはならないことを規定する。

##### 【責任ある経営体制】

理事の過半数を原則として認定農業者や農産物の販売等に実践的能力を有する者とすることを規定する。(経過措置:平成31年3月末以降の最初の通常総会終了まで適用しない。)

##### 【地域住民へのサービス提供】

地域農協の選択により、組織の一部を株式会社や生協等に組織変更できる規定を置く。

##### 【准組合員の利用規制のあり方】

改正法施行日から5年間(平成33年3月末まで)の正・准組合員の事業の利用状況並びに改革の実施状況の調査を行い、規制の導入も含めて検討を加え結論。

#### ◎ 連合会・中央会が、地域農協の自由な経済活動を適切にサポートする

##### 【JA全農】

JA全農がその選択により、株式会社に組織変更できる規定を置く。

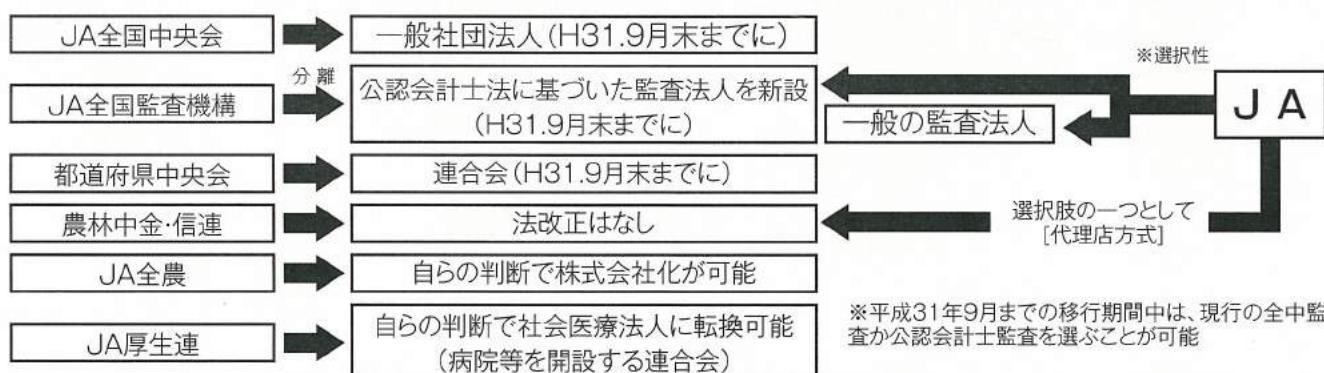
##### 【都道府県中央会】

経営相談・監査・意見の代表・総合調整などを行う農協連合会に移行する。(平成31年9月末まで)

##### 【JA全国中央会】

組合の意見の代表・総合調整などを行う一般社団法人に移行する。(平成31年9月末まで)また、農協に対するJA全中監査の義務付けは廃止し、代わって公認会計士監査を義務付ける。(平成31年度から)

### ◆ 今回の農協法改正で、JAグループの組織体制はこう変わります。 ◆



#### 農業委員会等に関する法律の改正

農地利用の最適化(担い手への集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進)を促進するための改正を行う

- 農業委員の選出方法を公選制から市町村長の選任制に変更
- 農地利用最適化推進委員の新設
- 農業委員会をサポートするため、都道府県段階および全国段階に、農業委員会ネットワーク機構を指定

#### 農地法の改正

6次産業化等を通じた経営発展を促進するため、農業生産法人要件(議決権要件、役員の農作業従事要件)を見直す

\*6次産業化:第1次産業の農業、水産業が生産だけでなく、食品加工(第2次産業)、流通・販売(第3次産業)にも生産者が主体的かつ総合的に関わることで、加工費や流通マージン等の今まで第2次・第3次産業の事業者が得ていた付加価値を農林水産業者が得て、第1次産業を活性化させようというもの。